

## 患者さまへ

### 「救急外来で初期診療を行った非外傷性鼻出血症例の診療実態の検証」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

|               |   |
|---------------|---|
| 1 研究の対象       | 2021年1月～2024年9月に、当院救急外来を受診した非外傷性鼻出血の方   |
| 2 研究目的・方法     | <p>非外傷性の鼻出血は頻度の高い救急疾患ですが、救急外来(ER)にて初期治療を行い、止血困難と判断された場合に耳鼻科医への治療依頼を行っています。そのため、ERの初期治療にて止血率を上げる事は、患者さまや耳鼻科医の負担軽減に繋がる可能性があります。ERにおける鼻出血診療実態の報告例はほとんどありません。また、鼻出血の止血の手段として吸収性のあるパッキング材としてメロセル<sup>®</sup>があり、当院のERでは2023年2月より導入しました。そのため、この研究では当院ERにおける鼻出血の診療実態と近年の治療方法の変化と止血率、メロセル<sup>®</sup>導入後の止血率の変化を検証し、患者さまや耳鼻科医の負担軽減に繋がることを目的としています。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年11月予定)後～2025年3月</p> |
| 3 情報の利用拒否     | <p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>  |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 年齢、性別、受診時期、出血部位、止血方法、既往歴(高血圧・糖尿病・脂質異常症・血液疾患)、抗血栓薬内服の有無、輸血の有無、受診後の経過、来院の方法、搬送救急隊の所属地域 等  |
| 5 お問い合わせ先     | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:<br/>澁谷大樹 湘南鎌倉総合病院 集中治療科<br/>神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>  |